

区立保育園看護師発 今月のテーマ

♡ 胃腸炎 ♡

冬になると、おう吐や下痢を起こすお腹のかぜ（胃腸炎）が流行します。こどもは、体内の水分量が大人よりも多いので、おう吐や下痢等で水分が失われるとすぐに脱水になってしまいます。早めの対応で、重症化を防ぎましょう。

胃腸炎の症状

- ・食欲がない ・吐き気 ・おう吐
- ・下痢 ・腹痛 ・発熱 など

おう吐・下痢が
続くと

脱水の症状

- ・唇や舌が乾いている ・尿の色が濃い
- ・尿が半日以上出ない/量が少ない



おう吐や下痢症状がある時の水分の飲ませ方

5ml の経口補水液を 5 分毎に飲ませます
スプーンやスポイト、コップなど飲ませやすい方法で飲ませましょう

ティースプーン 1 杯、
ペットボトルのキャップ
3/4 杯程度が 5ml の
目安です

おう吐の症状があっても、経口補水液を 5ml ずつ 5 分間隔で飲ませます

おう吐や吐き気が落ち着いてきたら飲ませる間隔を縮め、2~3 分おきに 5ml を飲ませます

参考文献：エビデンスに基づいた子どもの腹部救急診療ガイドライン 2017

以下の様な症状が一つでもある場合は、早めに医療機関を受診しましょう



- ・ぐったりしている
- ・顔色が悪い



- ・38°C以上の発熱
(または平熱+1°Cの発熱)



- ・繰り返し吐き、口から水分が摂れない



- ・おしっこの回数や量が少ない

参考文献：お子さまが吐いたら・下痢したら 2018

大田区の感染症情報

感染性胃腸炎の流行に注意しましょう！

- ❖ 感染経路…経口、接触、飛沫感染（感染力が強い）
- ❖ 症状…おう吐、下痢が主な症状
脱水を合併することがある
- ❖ 流行傾向…ノロウイルス感染症は秋から冬に、ロタウイルス感染症は冬から春に流行
- ❖ おう吐物や下痢便の処理には次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒が有効です。ウイルスは便中に 3 週間以上排出されることもあるので、排せつ後やおむつ交換の後にはせっけんとう流水で手をしっかり洗いましょう。

《11月1日から11月24日までの感染症状況》



学校等欠席者・感染症情報システムを活用し
区内 4 地域（大森、調布、蒲田、糀谷・羽田）
の感染症流行状況と感染症に関する情報をお知らせしていきます。

疾患名	大森	調布	蒲田	糀谷 羽田
インフルエンザ	87	37	97	25
溶連菌感染症	16	13	10	1
感染性胃腸炎	3	2	16	0
咽頭結膜熱	15	8	5	0